

国道287号（白鷹町大瀬地内）

積雪期前の通行止め解除を
目指し対策工事を実施中

国道287号線（大瀬地内）は、3月31日に発生した地すべり災害により全面通行止めとなり、町では早期の復旧を国・県に要望しています。

県では直ちに調査を実施するとともに地すべり対策に着手し、積雪期前の全面通行止め解除を目指し工事を進めています。

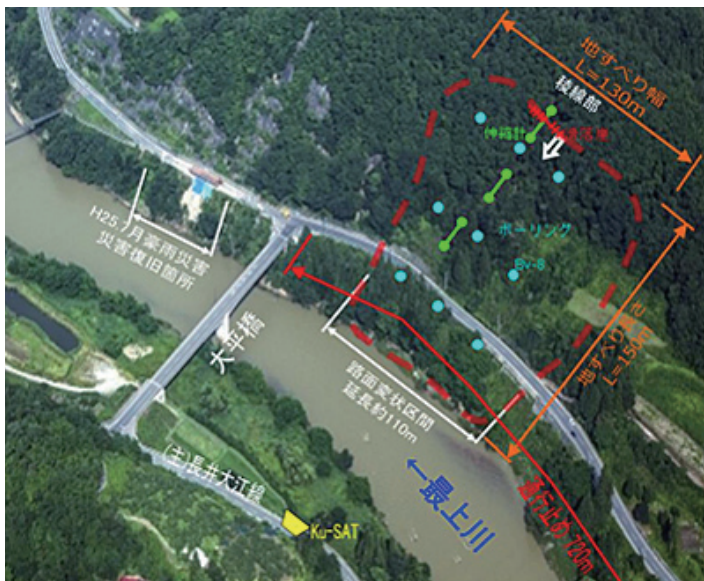
町民の皆様には、迂回路の通行などご迷惑をおかけしますが、ご協力をよろしくお願ひします。

このたび、県より復旧工事の概要について情報提供がありましたのでお知らせします。

【災害発生からこれまでの経過】

4月4日	土砂災害専門家（独）土木研究所が現地を調査
4月4日	ボーリング調査を開始（9孔）
4月5日	吉村知事が現地を視察
4月25日	町道坂下平田中山線を迂回路とする（車幅2.3m、車長7.0m以下まで通行可）
5月19日	町道迂回路の制限を変更（車長9.0m以下まで通行可）
6月9日	横ボーリング（地すべり抑制工事）開始
6月11日	吉村知事が国土交通省へ早期復旧を要望
6月30日	県道迂回路の長井大江線のガードレール等設置工事を開始
7月9日	豪雨により河岸浸食法面が崩落

【地すべり災害箇所図】



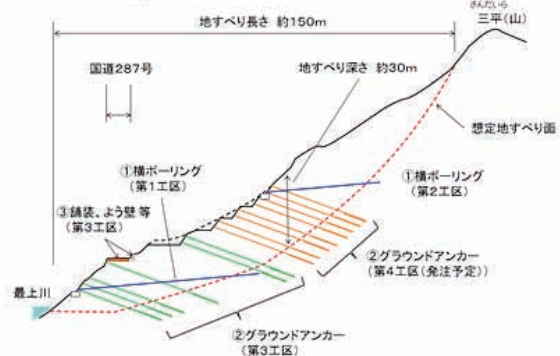
地すべり対策工事について

左記の工事について国土交通省と協議を進め、8月5日に災害査定を受けました。

- ①地下水を排水し、地すべりの動きを抑制する工事（横ボーリング）
- ②鋼材を埋め込み、地すべりの動きを抑制する工事（グラウンドアンカー）
- ③地すべりにより破損した道路施設を復旧する工事（舗装、擁壁等）

現在の工事の状況

地すべり対策工事の概略図



◆斜面下側の横ボーリング（第一工区）…施工中

◆斜面上側の横ボーリング（第二工区）…仮設道路施工を完了し、足場等の仮設を施工中



▲横ボーリング削孔状況

◆斜面下段のグラウンドアンカー、舗装・擁壁等復旧（第三工区）…道路谷側の擁壁床掘り、道路山側の井桁擁壁撤去、グラウンドアンカーに着手



▲山側の井桁擁壁撤去



▲グラウンドアンカー施工状況

◆斜面上段のグラウンドアンカー（第四工区）…今後発注予定

■問い合わせ 建設水道課
☎ 85-6142